

## 事後評価結果（平成17年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
17-8	多機能検査車走行による 道路構造物の健全性評価	京都大学大学院教授 杉浦 邦征	C
<p>&lt; 研究の概要 &gt;</p> <p>加振機能と高精度な計測機能を有する多機能検査車両を開発し、検査車が走行しながら橋梁の加振と応答計測を行うことで、橋梁の健全性を評価するシステムを構築するとともに、本システムを用いた管理手法を提案する。</p> <p>&lt; 主な研究成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行車両応答を用いた橋梁の固有振動数評価に関する技術的知見の把握</li> <li>・ 舗装面ひずみを用いた床構造の損傷検知に関する技術的知見の把握</li> </ul> <p>&lt; 事後評価結果 &gt;</p> <p>当初より懸案とされた提案技術の精度や信頼性について多くが未解決であり、実用性のある成果もほとんど得られなかったものの、走行車両の応答より床版や支承の損傷検知に対する可能性に関する技術的知見が得られた点で、一部一定の成果があったと評価する。</p> <p>&lt; 参考意見 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本研究成果により具体的な計測や分析の情報など技術的な限界をできるだけ明確に示し、今後の同種の研究について検討する際の参考となるよう配慮されることが強く望まれる。その上で、維持管理実務への活用の観点から、研究の方向性を再検討することが望ましい。</li> <li>・ 損傷等によるレスポンスの変化の検出精度について、限界を見極めながら研究を再構築することが望ましい。</li> <li>・ 技術的に難しい研究課題であったが、重要な課題であるので、更に新しい方策をも検討し発展させていただきたい。</li> </ul>			